

平成 19 年 12 月

石井章雄 学位論文審査要旨

主 査 佐 藤 建 三
副主査 箸 本 英 吉
同 押 村 光 雄

主論文

Telomere shortening with aging in the human pancreas

(ヒト膵臓の加齢に伴うテロメア長の短縮)

(著者：石井章雄、仲村賢一、岸本宏志、本間尚子、相田順子、沢辺元司、新井富生、
藤原睦憲、竹内二士夫、加藤基伸、押村光雄、泉山七生貴、田久保海誉)

平成18年9月 Experimental Gerontology 41巻 882頁～886頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究はヒト腭臓における加齢に伴うテロメア長の短縮について検討したものである。サザンブロットィング法を用いてテロメア長を測定し、それを年齢毎にプロットし、年間短縮率を求めた。その結果、ヒト腭臓のテロメア長は加齢に伴い有意な短縮をすることを認めた。多くのヒト臓器・組織では、構成細胞のテロメア長は加齢とともに短縮する事が報告されているが、本論文の内容は、ヒト腭臓においても、テロメア長は加齢に伴い有意な短縮をすることを初めて報告し、明らかに学術水準を高めたものと認める。